

令和4年7月下旬から8月上旬にかけて、③外部評価（評価委員会）を書面にて開催し、令和4年3月末時点での、令和3年度における政策の進捗状況について、各委員からご意見等をいただきました。

主な意見等は以下のとおりです。

都市像	政策	主な意見
都市像①	政策1	<ul style="list-style-type: none"> ○工業については、工場等の新設事業者数や製造品出荷額等も目標値を上回っており、評価できる。 ○次世代クリエイター育成について、将来の地域産業の発展に寄与するようなプロセスづくりが必要である。 ○産業支援センターが中心となると、どのように展開するのか、現状では想像できない。コーディネーターが主体的に企業支援を進めていくのか。 ○農業版ジョブコーチなどを育て、農福連携を行政主導で推進していくと良い。
	政策2	<ul style="list-style-type: none"> ○今後コロナが終息する中、一層の起業・創業を期待したい。 ○ツクリテ・人材バンク登録のガイドラインがあると良い。 ○ツクリテの情報を見える化し、市内外へ発信してコラボを促せないか。WEBでツクリテ情報をまとめるのも良い。
	政策3	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと納税の寄附件数が大幅に増えており、市のPRや産業活性化、税収増にも寄与している。 ○瀬戸をPRする専用の#を用意するなど、魅力発信を促す仕組みがあると良い。 ○市内で消費してもらうことが重要。既存のバスツアーは地域経済循環をもたらしていないのではないかな。 ○観光に出かける際、HPを見ない若者は多い。SNSも指標に入れると良いのでは。
	政策5	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティバスの利用者増加に向けた取組を考える必要がある。 ○市街地は渋滞が発生しやすく、信号が見にくい場所もある。改善が可能であれば検討いただきたい。
都市像②	政策1	<ul style="list-style-type: none"> ○待機児童数は増えているのではないかな。 ○応援基金の仕組みは良いと思うので、継続して欲しい。 ○ヤングケアラーについて、まずは信頼関係を構築し、伴走的な相談支援が得られる環境づくりが必要である。
	政策2	<ul style="list-style-type: none"> ○「子どもたちの社会的自立」を志向する方向性は賛成。どのように実現するか、市全体で仕組みづくりができれば。 ○屋内運動場の多目的トイレについて、ユニバーサルシートを設置して欲しい。 ○不登校児童生徒への対策が気になる。
	政策5	<ul style="list-style-type: none"> ○交通アクセス、安全対策など、課題の多い分野。瀬戸市で子育てしたいというイメージがつく環境整備を期待する。
都市像③	政策1	<ul style="list-style-type: none"> ○特定健診受診率について、各自治体工夫しているので、瀬戸市もあまりコストをかけない方法で実施することを期待する。
	政策2	<ul style="list-style-type: none"> ○講演会やイベントを定期開催し、そこで安否確認するようにしても良い。 ○移手段に「チョイソコ」を試験導入してはどうか。 ○「せとっ子ねっと」の高齢者版、障害者版があると良い。 ○ピアサポーターによる相談会は対面実施のみか。オンライン実施もできると良い。
	政策3	<ul style="list-style-type: none"> ○菱野団地の活動は活発であり、評価できる。 ○政策目標はNPO法人だけで良いか。一般社団法人や市民団体など、少し幅を持たせた方が良いのではないかな。
	政策4	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学生向けに、晴丘センター、ごみ収集車、関わる従業員の苦労の様子を伝えるなど、分別意識向上につながる取組をできると良い。 ○地域外の人がごみ収集所に不燃ごみなどを捨てていく姿を見る。何とかできないかな。